

平成22年度 学校協議会実施報告

第1回	実施日時:平成22年7月2日(金) 3:00~5:00	
	出席者	福岡知子 小谷裕美 福田章男 宮本克子 渋谷登志子 他、校長以下本校教職員
	テーマ	今年度のテーマ ○昨年度の学校教育自己診断に基づく提言(教育力の向上に向けて)を受けての今年度の取組内容について ○福祉と教育の連携事業について
内容及び提言	○教育力の向上について、福祉と教育の連携事業について説明 「アクトおおさか」と連携し、高等部から社会への移行のために生徒が必要な力を身につける実践を通じて教員の教育力の向上を図る。具体的には、自閉症児者への理解と指導等の研修(3回)と巡回相談(5回) ・小、中、高、とそれぞれのステージでの移行も視野に入れて、地域の様々な機関と連携して実施することが大切 ・教員がスキルアップした内容を地域の福祉職員にも伝達してもらいたい。 ・取組への過程と記録が大事である。また、手法だけでなく実践教員の持ち味も大事に取る組んでほしい。 ・個々の生徒の社会性を身につけることに教員が見通しをもって取組むことが大切である。	

第2回	実施日時:平成22年9月28日(火) 9:30~12:00	
	出席者	福岡知子 石橋重子 福田章男 宮本克子 渋谷登志子 他、校長以下本校教職員
	テーマ	○体育的行事について ○福祉と教育の連携事業中間報告
内容及び提言	・小、中、高と全校一斉に実施することへの教育的意義は大きいと感じた。 ・生徒の係り活動は自ら取組む運動会として有効である。 ・競技演技ともに一人ひとりを活かす工夫がみられた。 ・狭い運動場であるが、児童生徒の活躍や表情がまじかに見られ、楽しんで取組む様子がよくわかった。	

第3回	実施日時:平成23年2月9日(水) 3:30~5:00	
	出席者	福岡知子 小谷裕美 福田章男 宮本克子 渋谷登志子 石橋重子 他、校長以下本校教職員
	テーマ	今年度のテーマ ○昨年度の学校教育自己診断に基づく提言(教育力の向上に向けて)を受けての今年度の取組内容について
	内容	・教育と福祉の連携事業について、今年度の成果報告 ・今年度の研修、研究、授業研究について ・新任教諭の研究授業について ・自主研修会について
提言	・保護者も教員も同じ。ひとつ一つ勉強してきた。これからも研鑽を積んでほしい ・教員の使命は授業である。守口支援が授業を大切にしている点がよくわ ・児童生徒たちからサインを受け取り、児童生徒を変えようとするのではなく、障がいとなる環境を変え、そこから気づき、学びへと支援する様子がよくわ ・学校が一丸となって取組むことはよいことだ。指導案を作成することの大切さもよくわかる取組であった。	